

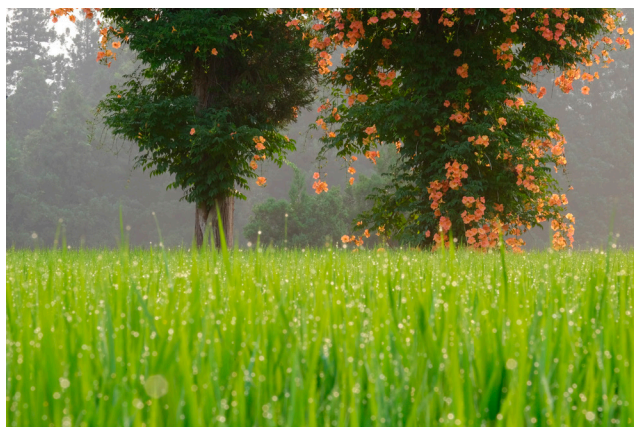


◆魚沼大好き！佐藤尚氏の写真展

写真家の佐藤尚氏は、全国を車で巡る旅を続け、写真を撮り続けています。

「おながすくように、眠たくなるように、僕は旅にでたくなる。出会った人々の温もりと、日常的な風景の中にあるしあわせの瞬間や、土の匂いがよみがえる。また明日僕は旅に出る」

車中泊をしながら撮った写真が、展覧会『47ぼくのより道』として全国を巡って、いよいよ魚沼へやってきました（6月8日より）。魚沼の地は佐藤氏にとって、こころの故郷であり、ある意味では凱旋するといっても過言ではありません。今回は巡回展の作品60点



佐藤尚「ノウゼンカズラ」（魚沼市守門）

に加え、15年前に東京で開催した『こころの故郷―越後魚沼の情景』10点、新たにプリントする『魚沼の情景』10点、合わせて80作品を一堂に展示します。

「魚沼は景色もいいが人もいい」というのが佐藤氏の口癖です。見ていてほっとする写真を前にすると、安らぎと心地よさを感じるのは自分だけでしょか。解説会や写真教室もありますのでご期待ください。（岡西英孝）

◆第20回記念 八海山夢展

7月20日から毎年恒例の八海山夢展が開催されます。夢展も今年で20回目を迎えました。故小島不二雄さんが「美術館で魚沼の宝八海山をテーマとした展覧会を開きたい」と提唱して、始まった夢展。美術館が開館した2年後、平成12年に第1回展を開催しました。その後休むことなく開催し、池田記念美術館の夏の顔となっています。20年の間に展示者の顔ぶれも変わり、展示作品のテーマも時代に合わせて更新してきました。最初は「八海山」をテーマとしていましたが、テーマを広げ、部門を増やし、より出展しやすい多彩な展覧会になっています。

今回は記念事業として、記念誌を発行いたします。20回展に展示する作品の写真を中心に、過去の出品作品や出展者の記録など、夢展の過去10年間を記録する作品集となるよう現在鋭意編集中です。また今年は、土日に出展者が交代で在館します。作品のことなど一緒に話しましょう。皆様のご来館を心よりお待ちしております。（広田かおり）



関厚子さんが制作した押し花の作品
文化講座の内容、申込み方法など、
詳細は美術館までお問い合わせください

◆イケビの文化講座①

令和元年より、イケビでは、文化講座を行います。第一弾として、地元で活躍されている、関厚子さんを講師にお招きして『押し花教室』を開催します。6月・11月の月1回、土曜日に開催し、時間は午後の1時から4時までとなります。参加費は各回、材料費込みの2500円。回ごとのお支払いも可能です。が、初回に全6回分、一括でお支払いの場合は優待があります。優待は2種類あり、どちらかを選択できます。一つは、100人以上の会員数がある、イケビの年間パスポート（合計5100円相当）をプレゼント。もしくは、全6回、1万5000円から1000円引きのどちらかになります。

基本の押し花の作り方、きれいな色を保つ保管方法、カッターナイフを使っての花の処理、季節の作品や花絵巻の制作、最後は年賀葉書を作ります。あなたの生活にぜひ押し花を取り入れてみてはいかがでしょうか。初めの方でも大丈夫です。皆様のご参加をお待ちしています。（山口加奈子）

◆女子力のブログに参加します

美術館で開催する展覧会やスポーツ、音楽などのイベント情報を一人でも多くの方にお

届けたいと思っていました。そんな時に、南魚沼市女子力観光プロモーションアドバイザーの小林昌子さんから有り難いお話をいただきました。女子力のブログに参加しませんかとお声がけいただき、イケビの女子三人で4月から参加させて頂いています。美術館や周辺の情報などを発信していく予定です。

小林さんとお会いするのは初めてでしたが、平成27年の女子力のブログで小林さんが掲載した「美容業界に詳しい女子力メンバーがすごい」と太鼓判のヘッドスパ！という記事を読んだ時に、ちょうど疲れが溜まっていたのですね。すぐに予約をして体験して来ました。おすめのように肩こりはもちろん、頭や眼もびつくりするほどスッキリと楽になりました。私たちも皆さんから興味を持っていただけるようなブログにしたいと思います。当館のホームページと合わせてご覧ください。（佐藤良子）

◆春のつれづれに

冬枯れの風景から、若葉青葉の季節を迎えました。山あいの谷間に住んでいると、家に向かって日に日に緑色が押し寄せてくるような感覚に襲われます。といっても、襲ってくるのは草木だけではありません。家の周りでは蛇が日なたぼっこをしていました。そろそろ猿も山から里に降りてくるでしょう。

私用で群馬に出かけた帰り道、久しぶりに三国峠を越えてきました。法師温泉との三叉路付近、国道沿いに八重桜が満開だったので、なんと猿の団が木に群がり、桜の花を引きちぎっているのです。車を運転しながら、桜と格闘する猿の絵であつたかなと考えたのですが、思い出せませんでした。

この春は何かとせわしなく、裏山歩きにもなかなか行けません。木の芽だけは何度か採りましたが、独活にも根曲がり竹にも縁無く終わり、夏近しとなりました。（高橋良一）

■既視から未視へ—高橋洋子・霜田文子二人展—

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：4月27日（土）～6月3日（月）

高橋洋子さん（日本美術家連盟会員、新潟市在住）と霜田文子さん（文芸同人誌「北方文学」同人、游文舎企画委員、柏崎市在住）の二人展。美術の技法や型にはまらず、独自の表現方法を追求する芸術家同士の注目のコラボレーションです。高橋さんは銅版画のほか、版画と金属など異素材を組み合わせたレリーフを出品。霜田さんは油彩とパントドローイング作品を出品しています。

■〈全国を車で旅する写真家〉

佐藤尚の写真展 47 ぼくのより道

〈同時展示〉こころの故郷—魚沼の情景

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：6月8日（土）～7月15日（月・祝）

47 都道府県を車で旅しながら、懐かしくほっとする風景写真を撮り続けている写真家・佐藤尚^{たかし}さんは1963年福井県生まれ。東京写真専門学校卒業後、山岳写真家・風見武秀氏に師事。90年にフリーとなり、雑誌、業界紙、カレンダーなどに作品を発表し活躍している。20年ほど前から魚沼にも足繁く通う、魚沼が大好きな写真家でもある。今回の個展では、全国各地の写真とともに、魚沼の写真も展示します。

【ギャラリートーク①】6月8日（土）15時～16時 ※要入館料

【ギャラリートーク②】6月22日（土）15時～16時 ※要入館料

【写真教室】6月22日（土）10時～14時 ※参加費1,000円 要申込
（デジカメ、昼食をご用意ください）

■〈社会福祉法人 桐鈴会 20周年記念展覧会〉

芸術・医学・宗教 三つの融合。有沢昱由展

◎2階展示室Ⅱ ◎期間：5月25日（土）～7月15日（月・祝）

有沢昱由^{いくゆう}さんは日本大学芸術学部を卒業後、元日展会長の大山忠作氏に師事しながら、駒沢大学大学院を経て仏教大学で僧籍を取得した異色の日本画家。72年日展初入選以来、日展に毎回出品し、2000年と05年に日展特選。また、日展日本画部門の日春展でも84年と04年に日春賞、95年・02年・05年には奨励賞を受賞した実力派です。今回の展覧会では、医療現場をモチーフにした作品とともに北里柴三郎の一代記を描いた絵図伝（経本折り）を展示します。

■一箱古本市

◎エントランスホール（無料） ◎期間：6月27日（木）～7月15日（月・祝）

出店者がワイン箱にお気に入りの古書を並べて販売するイケビ恒例の古本市。文庫本、単行本、雑誌……小説、絵本、実用書、美術書など、いっぱい並びます。

■〈今後の展覧会〉第20回記念 八海山夢展

◎期間：7月20日（土）～9月2日（月）

地元の美術愛好家を中心に絵画、書道、写真、水石、工芸の各部門で作品を展示。今年は20回記念展となり、記念誌の刊行と祝賀会を開催します。例年通り、大好評の“美のツボ”も企画中です。また、昨年同様に、第2回八海山ジュニア展を同時開催し、南魚沼市内の児童生徒の作品を約50点展示します。

◎他のイベント情報

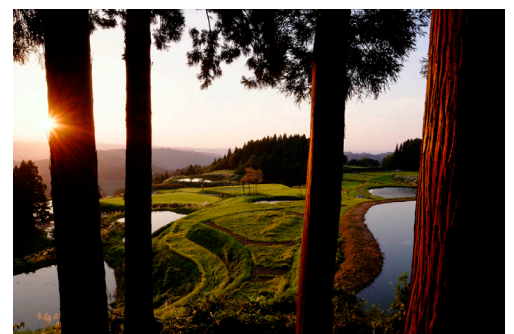
■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」※入場無料です。

■6月16日（日）11：30～ 月例音楽会（フルート、ピアノ、ギター）

■6月23日（日）14：00～ フォークソングの日



佐藤尚「朝の冬田」（南魚沼市塩沢）



佐藤尚「棚田夕景」（長岡市川口）

社会福祉法人 桐鈴会 20周年記念展覧会

ハーモニー

芸術・医学・宗教 三つの融合。

僧侶 有沢昱由展

医療法人社団 桐鈴会 共催

環境光の道 北里柴三郎絵図伝（シブツカ）

有沢 昱由 プロフィール

2019年 5/25（土）～7/15（月） 池田記念美術館 2F

●アヒラ 入館料 TEL 025-780-4118
●アヒラ 2F 展示室 展示室 展示室 展示室

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3（八色の森公園内）
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9：00～17：00（入館受付は16：30まで）
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【5月後半～6月の休館日】
※水曜日（5月29日、6月5日、12日、19日、26日）
※6月4日（火）、6日（木）、7日（金）は展示替えのため臨時休館となります

文化講座 押し花教室（第1回）
講師：関厚子さん（ふしぎな花クラブ）
6月29日（土）13時～16時